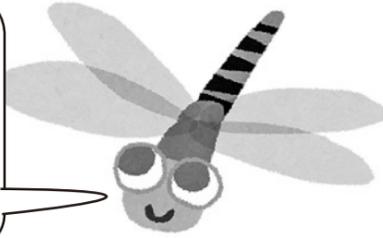




～グリーン・ツーリズムとは？～

緑豊かな農山漁村でゆっくりと滞在し、訪れた地域の人々との交流を通じて、その自然、文化、生活、人々の魅力に触れ、農山漁村でさまざまな体験を楽しむ余暇活動のことです。

このコーナーでは、田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会員の皆さんの活動やツアー、イベント等の内容を紹介していきます。



◆夏野菜収穫とイワナつかみ体験

7月23日、ときめき山学校（常葉町）で「夏野菜収穫とイワナつかみ体験」が開かれました。田んぼのオーナーを中心に県外から3組7人、県内から4組8人が参加し、夏野菜の収穫体験、ピザ窯を利用した「山学校ピザ」づくり、炭窯の火入れなどを体験しました。夜には、100匹以上のホタルが飛び交う幻想的な風景を楽しみました。



◆ひまわりフェスティバル

8月15日、大越町の愛宕山つつじ公園で「ひまわりフェスティバル」が開かれました。6月5日に植えた約3万本のひまわりが、牧野ひまわり会（大越町）に大切に育てられ、満開を迎えました。フェスティバルでは、男女2組のひまわり結婚式や、全長95mの流しそうめん大会などが行われ、市内外からの来場者で賑わいを見せました。



◆田村市を訪れるモニターツアー第2弾！

8月21日・22日の1泊2日で、田村市を訪れるモニターツアー第2弾「伝統の灯籠づくり体験と夏野菜収穫体験ツアー（福島県田村市の夏の農業と暮らし体験2日間）」が開かれ、田舎暮らしや田舎体験に関心がある関東圏在住の方々13人が、田村市の夏を体感しました。

1日目は、のうか民宿みちくさ（船引町）を訪れ、船引町伝統の灯籠絵付け体験や水鉄砲作成をし、灯籠流しに参加しました。2日目は、カブトムシ自然観察園を訪れた後、ふぁせるたむらを訪れ、さくま農園（船引町）の佐久間耕栄さん、船引町生活研究グループ（船引町）の根本君江さん、柳沼キミ子さん、田村市ご当地グルメプロジェクトの三浦真由美さんと交流しました。

参加者からは「灯籠流しを体験できて良い経験となった」「自分の“田舎”ができたような温かい気持ちになった」といった感想が寄せられました。



●今回受け入れられた「のうか民宿みちくさ」の渡辺好さんの感想

「灯籠の絵付け、流し、鑑賞までの全行程を参加者に体験いただき、とても印象に残る一日でした。来年も今年の体験を思い出し、第2の田舎として帰ってきてくれたら嬉しく思います。」

●問い合わせ

田村市グリーン・ツーリズム連絡協議会
（事務局：産業部 商工観光課 ☎ 81-2136）



田村市 長寿者ランキング これからも お元気で 長生きを

9月は敬老月間です。多年にわたり地域社会の発展に貢献されてきた方々に敬意を表し、長寿をお祝いしましょう。市内の長寿者、男女それぞれの20人は次の方々です。（8月22日現在、敬称略）
※年齢の基準日は9月1日です。

男性			
	氏名	年齢	住所
1	先崎 安信	101	船引町船引
2	石井 正典	100	船引町今泉
3	橋本 顕吉	100	船引町船引
4	佐藤 忠吾	100	船引町北鹿又
5	白石 正善	100	大越町上大越
6	大沼 正巳	99	常葉町堀田
7	吉田 寅一	99	都路町古道
8	石井 重郎	99	大越町上大越
9	佐久間 政人	98	常葉町西向
10	荒井 鶴久	98	船引町芦沢
11	三浦 碧	98	船引町北移
12	白岩 盛治	98	常葉町久保
13	本田 覺應	97	常葉町常葉
14	根本 刃治郎	97	滝根町広瀬
15	三浦 寛吉	97	船引町新館
16	會田 善太郎	96	滝根町広瀬
17	三浦 弘	96	船引町新館
18	三浦 常三郎	96	常葉町常葉
19	佐久間 吉延	96	都路町古道
20	鈴木 佐京	96	船引町船引

女性			
	氏名	年齢	住所
1	會田 文	108	滝根町神保
2	柳沼 トキ	106	常葉町常葉
3	白石 ヨシミ	104	大越町上大越
4	菅波 みつ	103	都路町古道
5	猪狩 富子	102	都路町古道
6	岡本 フミヨ	102	常葉町常葉
7	生田目 守代	102	都路町古道
8	佐藤 ウメノ	102	船引町堀越
9	宗像 トメ	102	大越町下大越
10	本田 トミ	101	船引町上移
11	本田 サキノ	101	常葉町西向
12	吉田 ユキノ	101	常葉町常葉
13	石井 マツ	101	大越町下大越
14	銭高 鳳喜	101	船引町船引
15	蒲生 タケノ	101	滝根町神保
16	佐藤 トクエ	100	大越町栗出
17	安瀬 フミヨ	100	船引町船引
18	早川 ケサノ	100	常葉町久保
19	舞木 ハルノ	100	大越町上大越
20	白岩 ミノ	100	常葉町常葉

認知症高齢者の方を介護している方へ

高齢者おかえり支援事業のお知らせ

●高齢者おかえり支援事業とは

認知症の高齢者の方が外出した際に、自分がどこにいるのかわからなくなったり、自宅に戻れなくなったりしたときに、早期に発見できるよう、高齢者の方の情報を事前に登録する事業です。
高齢者ご本人の安全とご家族への支援を図ります。

●利用対象者 市内在住で、認知症などにより行方不明になる恐れのある方

●利用の流れ

- ① 利用を希望する家族の方は、「田村市高齢者おかえり支援事業登録申請書」を介護福祉課または各行政局市民課に提出してください。
- ② 田村市地域包括支援センター職員が訪問し、登録情報について聞き取りと写真撮影を行います。
また、見守りグッズをお配りし、見守りグッズの使い方と常日頃の見守り方、介護サービスの利用の仕方など具体的にアドバイスします。
見守りグッズとは、高齢者本人が連絡先等を常に携帯できるように工夫したカードです。（写真右上から、ネームプレート、名刺、靴用ネームシール、アイロンプリントネーム）

●登録高齢者の行方がわからなくなったときは

- ① ためらわずに田村警察署、交番等へ行方不明届を出しましょう。
- ② 状況によっては、田村警察署からの要請により、情報メール配信サービスと防災無線で捜索協力の呼びかけを行い、早期に発見できるようにします。

●登録高齢者の無事を確認できたときは

高齢者本人が自力で帰宅したとき、ご家族や関係者が発見したときは、速やかに田村警察署に連絡してください。

☎ 保健福祉部 介護福祉課 ☎ 82-1115 田村市地域包括支援センター ☎ 81-1307

